

PixelCast



概要

PixelCast は、LibVLCSharpを使用した高機能なWindows用動画再生アプリケーションです、動画の再生位置とサイズを自由に設定することができます。

プレビュー画面（操作用）とプレーヤー画面（放映用）が分離しており、イベント放映やデジタルサイネージなどの用途に適しています、特にWindowsのマルチモニター環境での運用を想定しています。

動作環境

- **PC:** 4K動画を使用する場合は高性能なグラフィックボードを搭載したPCを推奨します。
- **OS:** Windows 10 / 11
- **必須ランタイム:** .NET 9.0 Desktop Runtime (<https://dotnet.microsoft.com/download/dotnet/9.0>)
- **必須ソフトウェア:** VLC media player (64bit) (<https://www.videolan.org/vlc/>) - システムにインストールされている必要があります。

インストール・アンインストール方法

- インストールはダウンロードした圧縮ファイルを解凍後、フォルダ内の「Setup_PixelCast.exe」を実行してください。
- アンインストールはコントロールパネルの「プログラムのアンインストール」から行えます。

ソフト種別

- シェアウェア
- ライセンス価格: 5,800円（税込）

ライセンスの購入方法

- 本ソフトウェアはシェアウェアです。ライセンス未登録の状態では『体験版』として動作し、起動から 15分で自動的に再生が終了する制限がかかります。現場の運用環境（マルチディスプレイ等）

で正常に動作することを十分にテストした上で、継続して実務等でご利用いただく場合は、Vectorのシェアレジにてライセンスをご購入ください。

主な機能

動画再生

- **LibVLCエンジン:** 高性能なLibVLCエンジンを採用し、多数のフォーマット（MP4, WMV, AVI, MOV, MKVなど）に対応しています。
- **デュアルウィンドウ:** 操作用のメインウィンドウと放映用のプレーヤーウィンドウに分かれているので、放映操作をプレーヤーウィンドウに表示させることなく映像を流すことができます。
- **自由な映像サイズ:** 映像の表示位置とサイズをピクセルで指定できるので、LEDビジョンのDot by Dot表示用にモニターの一部だけに表示したり、複数のモニターにまたがったディスプレイウォール表示ができます。
- **完全ギャップレス再生:** 送出用のプレーヤーウィンドウはダブルバッファリング方式を採用。動画切り替え時の黒画面（暗転）を排除し、テレビ放送のようなシームレスな映像送出を実現します。
- **フォルダー再生モード:** 単一ファイルだけでなく、フォルダーを指定してその中の動画ファイルを順次自動再生することが可能です。ファイル名順でプレイリストが構築され、イベント放映などに最適です。

パフォーマンス最適化

- **プレビュー無効化機能:** メインウィンドウ側の映像プレビューを無効化することで、CPU/GPU負荷を大幅に削減できます。高解像度動画の放映時に有効です。
- **再生の最適化:** 内部的にLibVLCのシーク最適化オプションを適用しており、システム負荷を抑えつつ安定した再生とシーク動作を実現しています。

多言語対応

- **リアルタイム言語切り替え:** UIの表示言語を日本語と英語の間で、アプリケーションを再起動することなくリアルタイムに切り替えることが可能です。

再生制御

- **映像表示サイズ設定:** 映像の表示サイズを「幅に合わせる」「高さに合わせる」「ウィンドウに合わせてストレッチ」から選択し、即時反映させることができます。
- **ループ再生:** チェックボックス一つでシームレスなループ再生が可能です。
- **シークバー:** 動画の一時停止時に再生位置を変更できます。プレビュー無効時でも操作可能です。プレビュー有効時はメイン画面で映像を確認しながらシークできるため、正確な頭出しが容易です。
※再生位置の変更は負荷の重い動作になりますので動画によっては反応が遅れる場合があります。
- **音量制御:** 音量スライダーで調整が可能です（プレーヤー（放映側）のみ音量が出力されます）。
- **自動再生:** アプリケーションの起動時に自動的に動画を再生することができるので自動運用が可能です。

設定の保存

- **状態の記憶:** 「プレビュー無効化」や「ループ再生」のチェック状態、ウィンドウ位置などを終了時に保存し、次回起動時に自動復元します。

操作方法



1. 再生モードの選択:

- **ファイル:** 特定の動画ファイルを1つだけ再生する場合に使用します。
- **フォルダー:** 指定したフォルダー内の全ファイルを順次再生する場合に使用します。

2. ファイル/フォルダー選択: 「選択...」ボタンから再生したいファイルまたはフォルダーを開きます。

3. 再生制御:

- **再生:** 動画を最初から、または一時停止位置から再生します。
- **一時停止:** 再生を一時停止します。
- **停止:** 再生を停止し、冒頭に戻ります。

4. ウィンドウ制御:

- **設定:** 自動再生や画面の初期座標などを設定します（詳細設定はメニューの「設定」から行います）。
- **再生画面を開く/閉じる:** 放映用のプレーヤーウィンドウを表示/非表示にします。

5. オプション:

- **ループ再生:** チェックを入れると、再生終了時に自動的に冒頭から再生します。

- **プレビューを無効化:** チェックを入れると、操作画面の映像を消して負荷を下げます（停止中のみ変更可能）。

6. ショートカットキー:

- Space : 再生/停止の切り替え
- Esc : プレイヤーウィンドウの開閉（停止中または再生中）

7. メインウィンドウの設定状態保存: メインウィンドウの各種設定状態は保持され次回起動時に復元されます。

設定

メインウィンドウのタイトルバーにある「設定」メニューから、アプリケーションの動作や再生画面の調整を行えます。

設定メニュー項目

- **環境設定...:** 詳細な設定を行う「環境設定」ウィンドウを開きます。
- **FPS表示(F):** 再生ウィンドウの左上に、現在の再生フレームレート（FPS）をリアルタイムで表示します。

環境設定ウィンドウの詳細

環境設定ウィンドウでは、以下の項目を変更できます。変更後「適用」ボタンを押すことで設定が反映されます。

PixelCast - 環境設定

再生ウィンドウ設定

X座標: 1920

Y座標: 0

幅: 1920

高さ: 1080

映像サイズ

☒ 横フィット

☐ 縦フィット

☐ ストレッチ

動作設定

☐ 起動時に自動的に再生を開始する

言語設定 (Language)

表示言語: 日本語 (Japanese)

適用 キャンセル

(右側のモニターにフルスクリーン表示する場合の設定例)

グループ	項目	説明
再生ウィンドウ設定	X座標 / Y座標	再生専用ウィンドウを表示するデスクトップ上の位置（左上角）をピクセル単位で指定します。
	幅 / 高さ	再生専用ウィンドウのサイズをピクセル単位で指定します。
映像サイズ	横フィット	アスペクト比を維持しながら、ウィンドウの横幅いっぱい映像を表示します。
	縦フィット	アスペクト比を維持しながら、ウィンドウの縦幅いっぱい映像を表示します。
	ストレッチ	アスペクト比を無視して、ウィンドウ全体に映像を引き伸ばして表示します。
動作設定	起動時に自動再生	アプリケーション起動時、前回の再生モードで動画ファイルを自動的に再生開始します。
言語設定	表示言語	アプリケーション全体の表示言語（日本語 / English）を切り替えます。

作者への連絡先

ご質問、バグ報告、ご要望などは以下のメールアドレスまでご連絡ください。

- Email: kuni.matsui.biz@gmail.com ()

免責事項

- このソフトウェアは自己責任においてのみ使用してください。開発者は、本ソフトウェアの使用または使用不能によって生じたいかなる損害についても責任を負いません。

ライセンス

- **LibVLCSharp**: MIT License (<https://opensource.org/licenses/MIT>)
- **VLC media player**: GPLv2 License (<https://www.videolan.org/policy.html>)
- **PixelCast**: © 2025-2026 HAKU-Works All Rights Reserved.